

## 1. 概要

熊本市塚原歴史民俗資料館は、館名のとおり史跡塚原古墳群に隣接しており、同史跡のガイダンス施設の役割も果たしている。

館内には、塚原古墳群からの出土資料をはじめ、城南町時代に収集された数万点にのぼる考古・歴史・民俗分野の資料を収蔵展示している。

主な展示物には、重要文化財の台付舟形土器、県指定重要文化財の千々屋寺の馬頭観音立像や国指定史跡阿高・黒橋貝塚、御領貝塚出土の資料、県内最古の旧石器（沈目遺跡）、貴重な弥生時代の青銅器（新御堂遺跡）、県内最古の寺院跡陳内廃寺の出土瓦等がある。また、考古学史を語るうえで重要な小林久雄氏収集の資料（通称小林久雄コレクション）を収蔵展示している。

### (1) 熊本市塚原歴史民俗資料館のあゆみ

- 昭和 49 年 12 月 日本道路公団・文化庁・熊本県・城南町の四者協定により資料館建設の方針決定。
- 昭和 51 年 12 月 塚原古墳群国指定史跡となる。
- 昭和 54 年 3 月 『塚原古墳群管理計画書』により、資料館に係る基本計画を策定。
- 昭和 56 年 4 月 城南町歴史民俗資料館建設準備委員会発足。
- 昭和 56 年 7 月 建設予定地発掘調査。
- 昭和 57 年 9 月 城南町歴史民俗資料館の建設に着工。
- 昭和 58 年 3 月 城南町歴史民俗資料館が竣工。
- 昭和 58 年 11 月 城南町歴史民俗資料館が開館。
- 平成 2 年 資料館敷地内に古代祭再現石造群設置。
- 平成 3 年 資料館敷地内に竪穴住居・高床倉庫築。
- 平成 22 年 3 月 合併により、熊本市塚原歴史民俗資料館と改名。
- 平成 28 年 4 月 平成 28 年熊本地震の影響を受けて一時休館。  
(平成 29 年 7 月再開)



資料館全景



考古展示室

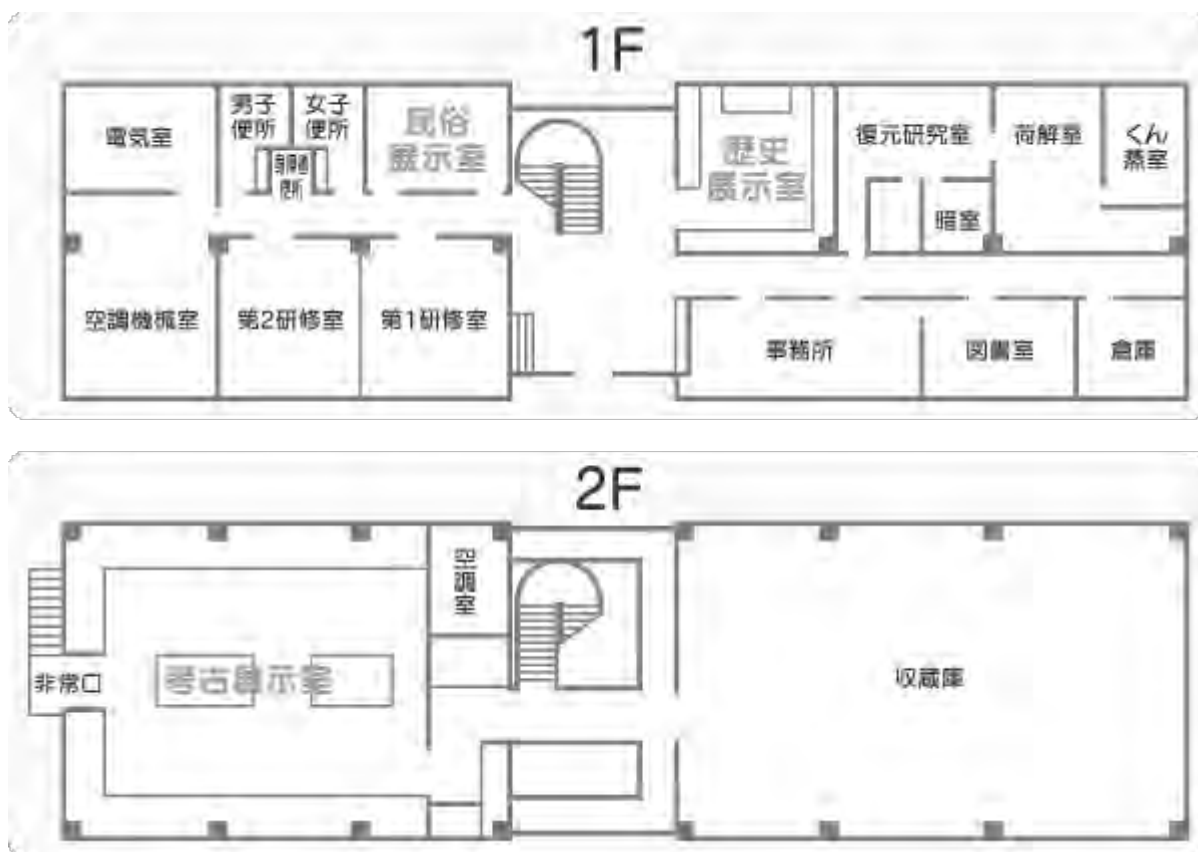


歴史展示室



民俗展示室

塚原歴史民俗資料館概要図



● 熊本市塚原歴史民俗資料館施設面積

敷地面積	7301 m <sup>2</sup>	延床面積	1,387 m <sup>2</sup>
建築面積	890 m <sup>2</sup>	展示室面積	351 m <sup>2</sup>
考古展示室	280 m <sup>2</sup>	事務室	43 m <sup>2</sup>
歴史展示室	43 m <sup>2</sup>	倉庫	14 m <sup>2</sup>
民俗展示室	28 m <sup>2</sup>	荷解室	21 m <sup>2</sup>
収蔵庫	306 m <sup>2</sup>	機械電気室	87 m <sup>2</sup>
研修室	87 m <sup>2</sup>	ロビー	87 m <sup>2</sup>
図書室	28 m <sup>2</sup>	便所	28 m <sup>2</sup>
復元研修室	43 m <sup>2</sup>	その他	275 m <sup>2</sup>
燻蒸室	17 m <sup>2</sup>		
● 構造 鉄筋コンクリート2階建て			
● 事業費 324,718千円			
※復元研究室には、器具室・暗室を含む。			

## 2. 学芸活動

### 1 展示

#### (1) 企画展 (共催)

##### ア 令和元年度「熊本市遺跡発掘速報展」

熊本市文化振興課が毎年開催している企画展であり、令和元年度は当資料館での開催となった。

主な展示物は、熊本市内において平成 31 年から令和元年にかけて発掘された資料で、メインの展示物は、全国でも 3 例目となる古墳時代埋葬馬の全身骨格で、県外からの見学者も多く見られた。本資料館収蔵の資料も合わせて展示した。



期 間 12月20日(金)  
 ~2月24日(月・振)  
 (開催日数) 67日  
 会 場 塚原歴史民俗資料館特別展示室  
 入場者 989名

##### イ 関連講演会①

西南戦争で焼失した町屋の発掘成果から、戦争前後の人々の暮らしぶりについて話していただいた。

期 日 1月12日(日)  
 演 題 「熊本城下焼亡をさぐる」

講 師 美濃口 雅夫 氏  
 (熊本市文化振興課主幹)

参加者 40名

##### ウ 関連講演会②

平成 29 年度に上代遺跡で発掘され、3 年をかけて保存処理を施した古墳時代の埋葬馬に関連し、他県の例や当時の様相などについてお話いただいた。

期 日 2月2日(日)  
 演 題 「上代遺跡出土の埋葬馬」  
 講 師 入江 由真 氏  
 (熊本市文化振興課文化財保護主事)

参加者 68名

### 2 教育普及

#### (1) 教室・講座

##### ア 歴史民俗資料館古文書講座

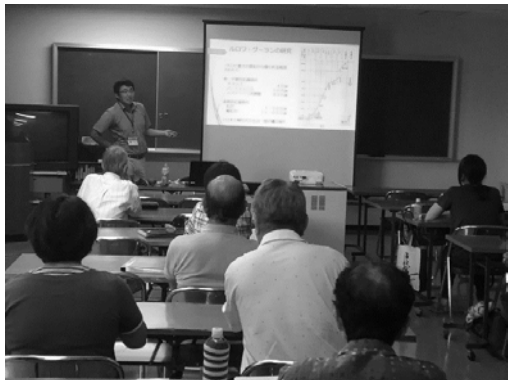
受講年齢制限なしの通年の講座。月 1 回、第 3 日曜日に開催。昨年度に引き続き、熊本史学会会員の花岡興史氏に「熊本の史料に見る幕藩関係」のテーマで講義をしていただいた。複数年にわたって受講が可能のため、開講当初からの参加者も多い。

4.28	開講式 記念講演「江戸城普請における 大名課役の再検討」	32名
5.19	熊本の史料に見る幕藩関係①	27名
6.16	熊本の史料に見る幕藩関係②	33名
7.21	熊本の史料に見る幕藩関係③	31名
8.18	熊本の史料に見る幕藩関係④	31名
10.20	新発見の宗像文書について	32名
12.8	熊本の史料に見る幕藩関係⑤	28名
1.19	熊本の史料に見る幕藩関係⑥	27名
2.16	熊本の史料に見る幕藩関係⑦	28名

## イ 歴史民俗資料館考古学講座

年齢制限なしの通年の講座。当館学芸員が講師となり月1回、第1日曜日に開催。原始から古代を中心に各回テーマを設定して講義を行った。また、熊本県文化課及び熊本市文化振興課・熊本博物館の各職員5名にそれぞれの研究分野について講義をお願いした。

4.28	開講式	17名
	記念講演「江戸城普請における大名課役の再検討」	
5.26	地下に歴史を掘る	11名
6.2	先人が残した宝物	16名
7.7	実録弥生時代	21名
8.4	熊本の弥生時代	16名
9.8	石器時代のイロハ	14名
10.6	追憶の熊本	18名
12.1	万葉集の植物	15名
1.12	熊本城下焼亡をさぐる	40名
2.2	上代遺跡出土の埋葬馬	68名



考古学講座風景

## ウ 夏だ!!わくわく古代体験教室

歴史や考古学の楽しさを伝えるために、小学生を対象に夏休みに3日間開催。3日とも違ったメニューを用意して行った。

【1日目】8月7日(水)

内容 勾玉作りと火起こし体験。  
蠟石を使った勾玉づくりと舞錐を使った火起こし。

参加者 31名

【2日目】8月8日(木)

内容 巴形銅器作りと火起こし体験。  
シリコン鋳型を使った巴形銅器のレプリカ作りと、舞錐を使った火起こし体験を行った。

参加者 16名

【3日目】8月9日(金)

内容 土器作りと火起こし体験。  
土器作りと舞錐を使った火起こし。

参加者 12名



## エ 学芸員と歩く野外博物館

年齢制限なしの教室。塚原歴史民俗資料館の館内見学と館周辺に自生する野草や遺跡の観察を行う講座。植物及び考古担当学芸員が案内役。

実施日 4月7日(日)、10月13日(日)

参加者 9名



学芸員と歩く野外博物館

## オ 土器づくり教室～春・秋～

塚原歴史民俗資料館に収蔵している土器をモデルに、各自が思い思いの土器を作成。焼成は、

雲南式の土器焼成法で行った。

実施日 4月21日(日)、5月4日(土・祝)、  
10月27日(日)、11月10日(日)

参加者 11名

#### カ 巴形銅器づくり教室

年齢制限なしの教室。当館展示中の巴形銅器をモデルに委託制作したシリコン製の鋳型に、低融点合金であるUアロイを溶かして流し込み、レプリカを作成する体験教室。

実施日 5月25日(土)

参加者 13名

#### キ 土器修復体験講座

バックヤード体験講座。当館で作成した土器を使って、土器片を接合するバックヤードでの作業を体験してもらう講座。参加者は、なれない作業に四苦八苦しながらも楽しんでいただいていたようだった。

実施日 6月23日(日)

参加者 4名



土器修復体験講座

#### ク 古代文様の文鎮を作ろう

収蔵品の土器や瓦の文様を写した粘土を素焼きしたものに色付けをして文鎮を作る体験教室。

実施日 11月24日(日)

参加者 6名

#### ケ 編布づくり教室

縄文時代から編まれていた「編布」の編み方で、

コースターを作る体験教室。

実施日 12月22日(日)

参加者 7名

#### コ オリジナルの埴輪を作ろう

出土埴輪を参考に、オリジナルの埴輪を作る体験教室。焼成は雲南式土窯。

実施日 1月26日(日)

参加者 7名



オリジナル埴輪の製作風景

## (2) 館外活動

#### ア 西・北亀井子ども会

体験教室として、勾玉づくりを指導した。

実施日 7月14日(日)

参加者 60名

#### イ パレアリレー講座

「実録弥生時代」の演題で講義。

実施日 9月2日(月)

参加者 40名

#### ウ 豊田小学校6年生

体験教室として、勾玉づくりを指導した。

実施日 9月7日(土)

参加者 34名

#### エ 清水小学校6年生

体験教室として、勾玉づくりを指導した。

実施日 12月5日(木)

参加者 137名

#### オ 幸田公民館家庭教育学級

体験教室として、土器づくりを指導した。

実施日 12月15日(日)

参加者 40名



土器づくり

カ 熊本大学博物館課程講義

講義内容「埋蔵文化財の保存」

実施日 1月16日(木)

参加者 40名

(3) その他の教育普及活動(館内で実施)

ア YMCA

体験教室として、勾玉づくりを指導した。

実施日 4月29日(月・祝)

参加者 16名

イ 杉上小学校6年生

体験教室として、勾玉づくりと火起こしを指導。

実施日 6月6日(木)

参加者 70名

ウ 放課後デイサービス(クリエイトン尾ノ上)

体験教室として、勾玉づくりを指導した。

実施日 9月16日(月・祝)

参加者 15名

エ 小坂小学校

体験教室として、勾玉づくりを指導した。

実施日 10月3日(木)

参加者 41名

オ 放課後デイサービス(プラサ)

体験教室として、勾玉づくりを指導した。

実施日 10月12日(土)

参加者 5名

カ フレンドリー

体験教室として、勾玉づくり・火起こしを指導。

実施日 10月25日(金)

参加者 15名

キ YMCA

体験教室として、勾玉づくり・編布づくりを指導した。

実施日 12月25日(水)

参加者 16名



編布づくり

(4) 博物館実習生の受け入れ

8月20日(火)～25日(日)までの6日間、山口大学から1名を受け入れ、博物館活動についての指導を行った。詳細は以下のとおりである。

8.20 受入式

講義「熊本市塚原歴史民俗資料館について(オリエンテーション)」

企画展展示案作成(基本構想)

8.21 民俗資料整理(写真・パソコン入力)

企画展示案作成(基本設計)

8.22 歴史資料整理(写真・パソコン入力)

企画展示案作成(実施設計)

8.23 歴史資料整理(写真・パソコン入力)

企画展示案作成(実施設計)

8.24 企画展示案作成(展示レイアウト作り)

8.25 展示案プレゼンテーション

実習報告書作成

<b>3</b>	<b>収集保存</b>
----------	-------------

ア 資料特別利用

- 7. 14 御領・阿高貝塚資料  
(九州縄文研究会)
- 9. 6 陳内廃寺出土瓦 6 点  
(熊本県立装飾古墳館)

イ 資料貸出

- 9. 7 陳内廃寺出土瓦 6 点  
(熊本県立装飾古墳館)

令和元年度熊本市塚原歴史民俗資料館入館者数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一 般	大人	70	149	72	60	102	56	59	75	86	165	186	臨時 休館	1080
	小人	9	19	2	1	13	2	5	4	0	5	8		68
団 体	大人	0	0	0	48	41	0	125	0	31	0	0		245
	小人	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0		38
計		79	168	74	109	156	58	227	79	117	170	194	1431	

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
免 除	大人	191	243	183	159	137	164	178	155	138	225	208	臨時 休館	1981
	幼児	62	7	5	0	15	3	19	6	4	15	6		142
	小・ 中学生	75	30	116	55	108	28	113	41	26	74	46		712
計		328	280	304	214	260	195	310	202	168	314	260	2835	

合計	407	448	378	323	416	253	537	281	285	484	454		4266
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--	------

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日より臨時休館